

黒船祭り

伊豆下田の5月の恒例イベント「第85回黒船祭」が開催されました。今年は下田開港170周年のメモリアルイヤーでもあるので例年以上に盛り上がりました。花火、パレード、出店、あらゆる街角で繰り広げられる大道芸、パフォーマンスと盛りだくさんでした。



一方伊東では、「伊東祐親まつり」が開催されました。下田の黒船祭りと同日開催なので、今回は見に行けませんでした。



カエルなのに傘持ってる 雨キライなのかな

利用者様&リハビリ共同制作 ～藤の花～

午後の集団活動の一環で藤棚作りをしました。1回に4～6人の利用者様と数人のリハスタッフとで、数日間かけて制作しました。現在施設入り口に飾ってあるので利用者様ご家族にはぜひご覧いただきたいと思います。

〔見どころ〕

写真では伝わらないですが、よく見ると藤の花の間に飛び交う蜂、いろいろな表情をした蜂が何匹もいるので、近くからご覧ください。また、藤の花は表から見ても裏から見てもきれいに見えるように作りしました。いろいろな角度からお楽しみください。

リハビリでは施設生活にメリハリを持っていただけるよう、様々な角度からトライしています。



←拡大



4階&リハビリ共同制作 ～こいのぼり～

4階利用者様とリハビリスタッフで毎月テーマを決めて制作している作品。5月は端午の節句の「こいのぼり」です。

- ・はさみの得意な方にはウロコの切り取りを。
- ・デザインを決めるのが得意な方には色合いを。
- ・のり付けの得意な方にはのりはりを。
- ・手先の器用な方にはこよりでひも作りを。
- ・折り紙の得意な方にはかざ車を。

みんなの“出来る”を形にしたステキなこいのぼりが出来上がりました。わたしたちリハビリスタッフはほんのちょっとだけお手伝い。

4階フロアに飾ってあります。ぜひご覧ください。

リハスタッフ



鯉のぼりの下で お昼ごはん BBQ

曇り空、その後お日様が顔を出し、BBQ日和となりました。5月2日のゴールデンウィークのなか日に通所リハビリご利用の皆様とスタッフでBBQを行いました。鯉のぼりでの開催は恒例行事となり、毎年ご好評を得ています。鉄板メニューのお肉・やきとり（焼き手：施設長）・野菜・海鮮をはじめ、今が旬のたけのこ等盛りだくさんの取り揃え。皆様、取り皿一杯選んでいただき、おかわりする方もおられました。スタッフもおいしくいただきました。



6月のレクリエーション と行事予定

- デイ 誕生日会 6/10・19・25 6/27 ミスコン 5階とコラボ
 2階 パンケーキ 6/19
 3階 フルーツパフェ 6/24
 4階 駄菓子屋バイキング 6/10
 5階 パーラー杜 6/12 誕生日会 6/12
 6階 昼食はお寿司の出前 6/19



移動美容室「クランチケア」さんがいとうの杜に来ます。
 6月 6日(木)
 6月18日(火) 午後のみ営業
 6月24日(月)
 ご希望の方は各フロアスタッフまで!!

看護部長だより

皆様こんにちは。お元気でお過ごしでしょうか。

初夏を迎え、これから暑い日がやってきます。体調にはくれぐれもお気をつけください。いとうの杜では、4月から新年度を迎え大きく変わっています。ICT化により業務の効率化を図りました。利用者様と関わる時間をもっと欲しい！その思いの実現に電子化の導入が始まりました。まず、「ケアカルテ（介護ソフト）」の入力から練習が始まり、操作を覚えるのに四苦八苦しました。「これはどうしたらいいですか」「送り間違えた」とか、修正に時間がかかってしまったりしました。さらに「眠りスキャン（体動を検知して、睡眠状態を判定するセンサー）」や「ハナスト（介護記録や申し送りを音声入力で行えるアプリ）」の導入と順次使いこなせるように頑張っています。

ちなみに私は、フロアに出向きスタッフと一緒に使い方を覚えました。若いスタッフは普段からスマホ等使いこなせていますが私は覚えが悪いので、同じことを何度も聞き、何度も教えてもらいながら、なんとか自分の役割をはたせるようになり胸をなでおろしています。このようにスタッフ同士が教え合う姿に喜びを感じています。

スムーズに使いこなせるのもうちちょっと先ですが、スタッフ一同協力し合い、助け合い業務に邁進してまいりますので、よろしく願いいたします。

看護介護部長 保坂はつの

皆様と一緒に楽しい紙面づくりをしていきたいと思ひます。
 ご意見や投稿などお待ちしております！

〒414-0002 伊東市湯川 288番地9 ホームページ
 「いとうの杜新聞」編集部まで <https://www.itou-mori.jp/>
 電話 0557-35-4165 FAX 0557-35-4101



**いどうの杜
わんわんクラブ**

犬好きさんの集まりです！不定期ですが、メンバーが我が子自慢のため時々集まってお茶しています。今回は城ヶ崎海岸にあるペットと行けるカフェ「CANDY」での会合の紹介です。皆さん聞いてください。



愛犬に優しい店主がいるカフェ、来店と同時に通しにワンちゃん用お水とクッキーが出され、犬の名前が必ず聞かれるドッグファーストのお店です。カフェですが食事のメニューも充実して、付き添いの人間用の食事もできます。我々以外にもわんちゃん連れのお客さんがいて、大型犬から小型犬まで揃い、まるでペットショップみたい。店内も綺麗で動物臭とかは気になりません。

【自己(犬)紹介】

大型犬

大町カイリー：ゴールデン 3歳 ♀
究極の末っ子気質です 毎日8歳のお兄ちゃんを追いかけまわしています。
名前は…カイリー・ミノグ(歌手)からもらいました。
お兄ちゃんはファレル…ファレル・ウィリアムからもらいました。



三田凜(りん)：ラフラドル 6カ月
群馬県生まれ♀ 人が大好き動物も大好き
なおてんば娘 トイシはほぼ失敗なくなりましたが、カジカジが止まらない。
家が破壊されてます



小型犬

大森るる：イタグシ×ダックスのmix
人が大好きで抱っこされることが大好きな女の子です。2歳
みなさん、よろしくネ。



杉本もも：トイプードル 推定9歳
杉本なな：トイプードル 推定7歳
2匹とも女の子
劣悪環境からの保護犬です。やっとお家ワンコになってきました。
これからもっと楽しいことあるからね



菊田ロイ：トイプードル 2歳
菊田イヴ：ミックス(マルキー) 1歳
2匹とも男の子
毎日仲良く遊んでいます！



佐藤うみ：ミニチュアダックスフンド 5カ月 ♀
犬界のルールを身をもって勉強中のパピー
チャームポイントはくるくるのお耳の毛とぶっとい前足です！



高橋銀太：シーズー 6歳 ♂
人間の女子が大好きです。ただ、犬はちょっと苦手なイケメン(?)
今回集まったわんこの中で一番ビビリでした…固まってました。



人間はお腹いっぱいになり、そろそろワンちゃんたちも飽きたので、お散歩に出かけました。近くにある吊り橋まで出かけしばし散策。
それぞれ自宅に戻った子たちはみんな爆睡でした。

わんわんクラブメンバー



若かりし頃カラオケで流行った城ヶ崎ブルース



**リハビリ室新入職
~ようしくお願ひします~**



皆さん、初めまして。4月からいどうの杜に入職させて頂きました理学療法士の田北由唯(たきたゆい)と申します。私の自己紹介をさせていただきます。結婚を機に夫が住んでいる稲取に引っ越してきました。まだこちらに引っ越して1年ほどしか経っていないので、伊東の美味しいお店などを紹介していただけたらうれしいです。私の地元の話の少しだけさせてください。



出身は神奈川県足柄上郡というところです。山に囲まれた自然豊かなところで夏には虫なども見ることが出来ます。足柄という地名は聞きなじみがないかもしれませんが、足柄山の金太郎と聞くと皆さんも聞き覚えがありますでしょうか？

童謡金太郎の歌詞に出てくる足柄山は静岡県と神奈川県に跨っている金時山などの山々の呼称です。標高1213mの山であり、初心者でも登りやすい登山コースとしても有名です。金時山の山頂からは仙石原湿原、相模湾、そして富士山などが一望でき、雄大な景色が楽しめます。また、金時山の近くには箱根や小田原など有名な観光地もあるのでお近くに行った際にはぜひ立ち寄ってみてください。

これから皆さんとリハビリを通して色々なお話をしながら私のことを少しずつ知って頂けたら嬉しいです。よろしくお願ひします。

**パフェパーティー
~6階~**

伊東駅前に今年3月にオープンしたばかりの「フルーツパーラー旬美堂」さんのパフェでパーティーしました。プリンの上に苺ソースがたっぷり詰まったおしゃべりな一品でした。皆さん間違いなくおいしくいただきました。6階スタッフ



**春のパン祭り! わっしょい!
~3階レクリエーション~**

5/20月曜日、朝は大変な雨でしたが徐々に太陽が起動して参りました。五月晴れのおやつバイキング日和♡
“レッツ~パンパン!”スタッフの盛大な掛け声に、皆様より極寒とも思えるたとえようのない冷たい微笑を浴びせられ静かななかに開幕しました…そんな空気の中、なおかつ悲しいお知らせを一言…「..あんパンはありません..」ブーイングのトルネードに(やっぱりね…)特に謝罪することもせず利用者様と一体となりあんパン不在に対するデモを率先して行いました。が、パンが並べられたテーブルの前方へと暗黒化した皆様の表情が、眩しい光の笑顔に変わったのでした。(ミッキーがいなくてもディズニーランドは楽しいよね!みたいな!) 種類ずつオシャレな籠の中に並べられていて感動!まずは『掟』として最初に3個選んで頂き、食されたら次へと。レッツパンパン。頬袋でもあるのかと思えるほど次々と口の中に。青ざめていくスタッフをよそにパンを召しあがる姿に微笑ましくも何故か震えた。「おいしいね~」との声が聞こえ始め、ふだんおやつを



召し上がらない方も「今日は食べる! うまいねこれもっとちょうだい」 「夕飯食べられるかな」の声に(パンはここに居るの、今は忘れて)訳あり恋愛ドラマのようなセリフが頭をよぎるのでした。嚙下状態に合わせて用意くださったヨーグルトを混ぜての食事介助。「うんうん」と頷かれる様子が涙ぐましく、只々見守り続けました。ご協力くださったスタッフの皆さんありがとうございました。パンを楽しく召し上がってくださった利用者様、大、大、大感謝。



スガワラ春のパン祭り実行委員長